



国勢調査ってすごい



大分県

平成22年10月1日に実施される国勢調査について、調査イメージキャラクター「センサスくん」と大分県の応援団“鳥”「めじろん」がご案内します。

国勢調査ってよく聞くけど、どういう調査なの？



国勢調査は国内の人口・世帯の実態を把握することを目的とした最大規模の統計調査だよ。

大正9年から5年ごとに行われて平成22年国勢調査はその19回目になるんだ。

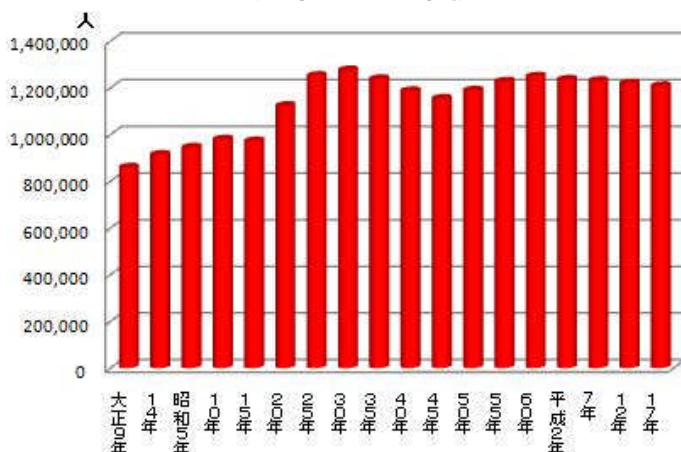
総務大臣に任命された県内約7,000名の国勢調査員さんが、みなさんの世帯を訪問して、調査票の記入をお願いすることになっているよ。

どんなことがわかるの？



人口や世帯について集計すると、いろんなことがわかるんだ。少し大げさにいうと、1枚の調査票からぼくたちの住む社会の姿が見えてくるんだよ。どんなことがわかるのか、グラフで紹介しよう。よく見てね！

大分県人口の推移



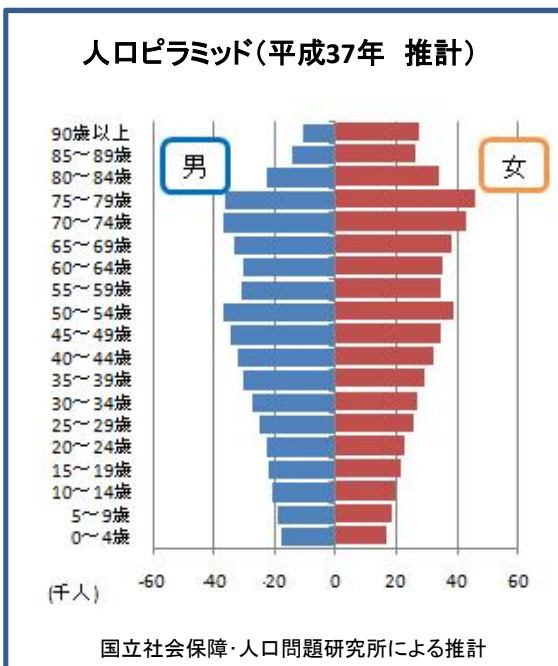
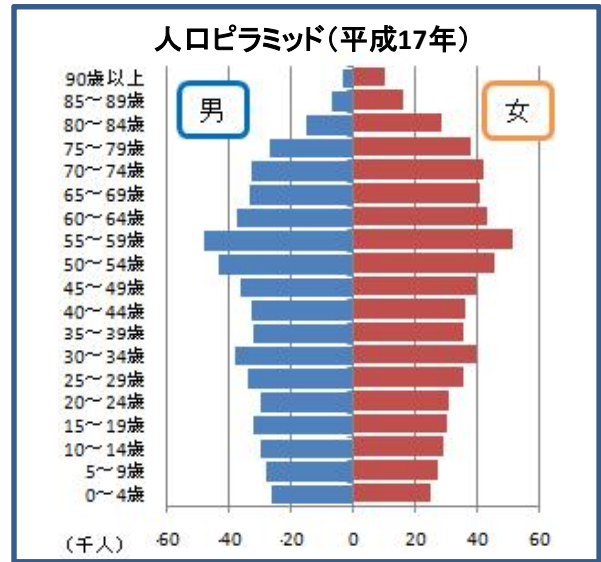
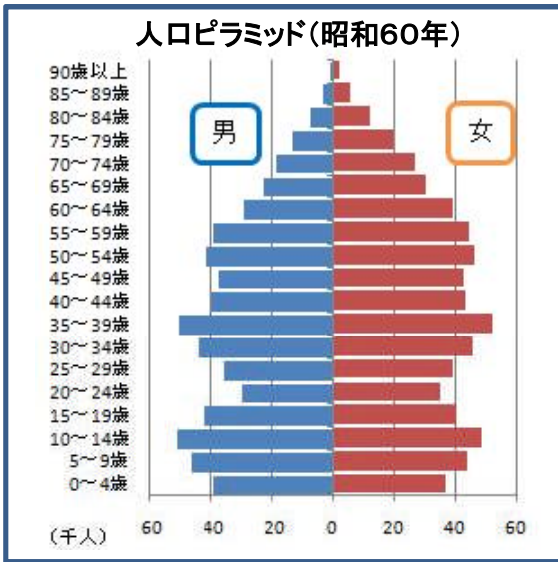
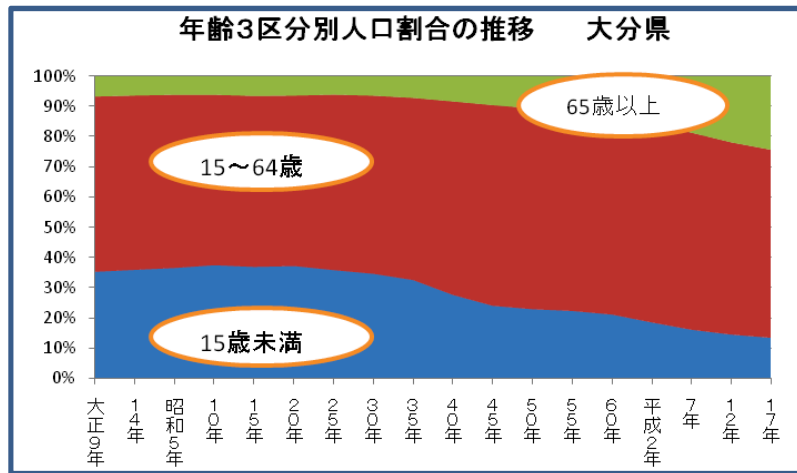
大分県の人口は頭打ちだね。



よく見ると、少しずつ減少しているんだよ。



このページでは、年齢構成の変化を見てね!



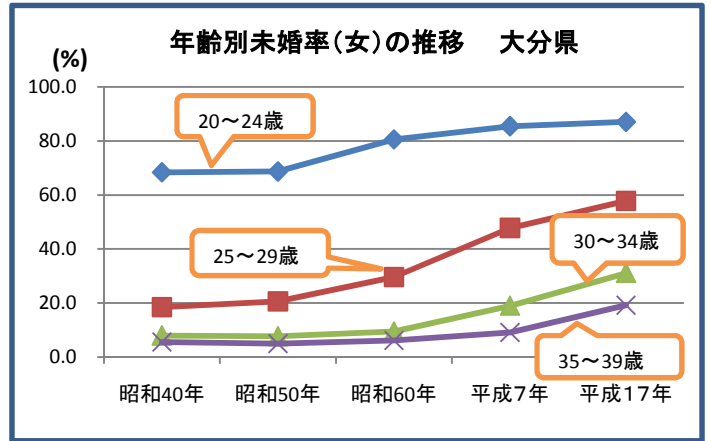
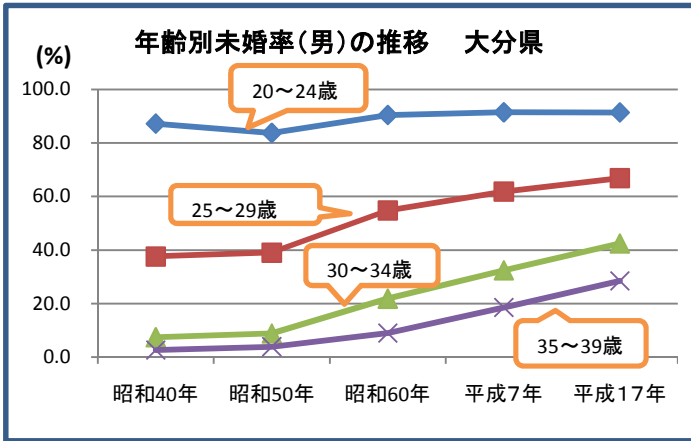
15歳未満の割合が減って65歳以上が増えているね。



人口ピラミッドを見ると平成17年には50歳代の人が一番多かったんだけど、国勢調査をもとに推計した20年後には70代が最大になるんだよ。特に女性がね。子どもの数がますます少なくなるのが心配だ。



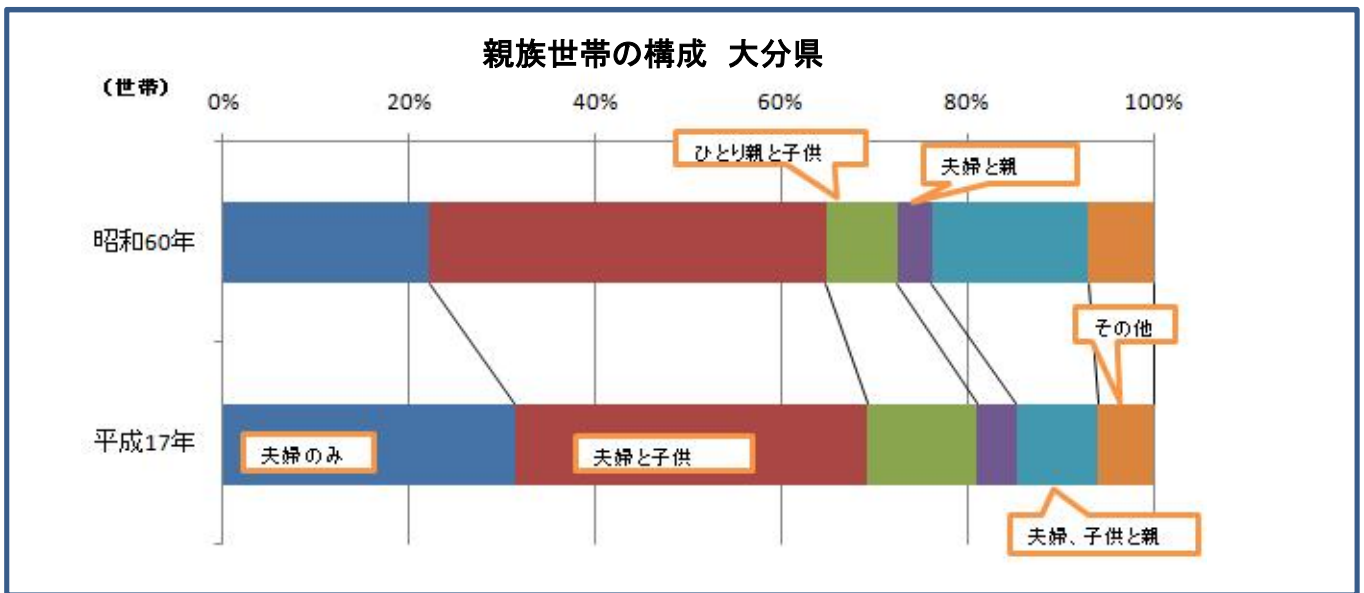
結婚について考えてみよう。



25歳~29歳の女性では昭和50年には未婚率が20%だったのに平成17年では60%に近づいているよ。ものすごい変化だね。



いま問題になっている少子化はここに原因があると思うんだ。次のグラフは世帯の構成だよ。



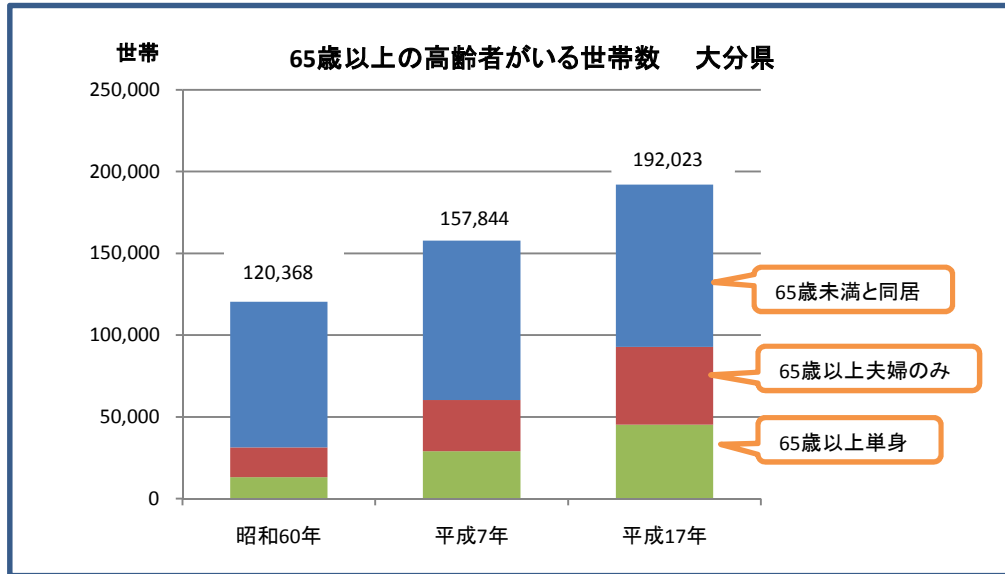
20年の間に世帯の姿はずいぶん変わったね。



夫婦だけの世帯が増えて、3世代世帯が減ったのが特徴かな。



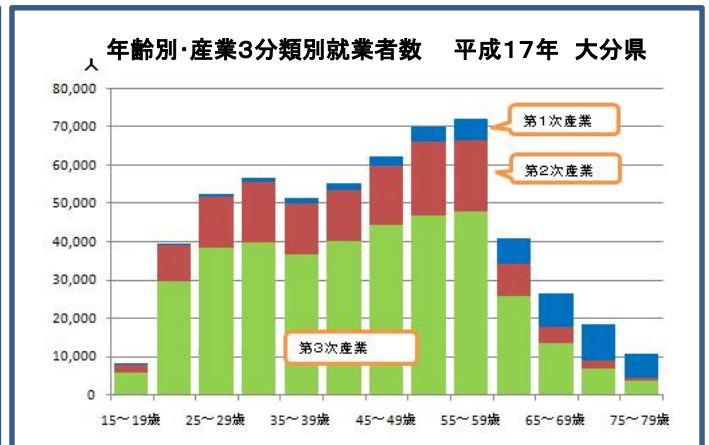
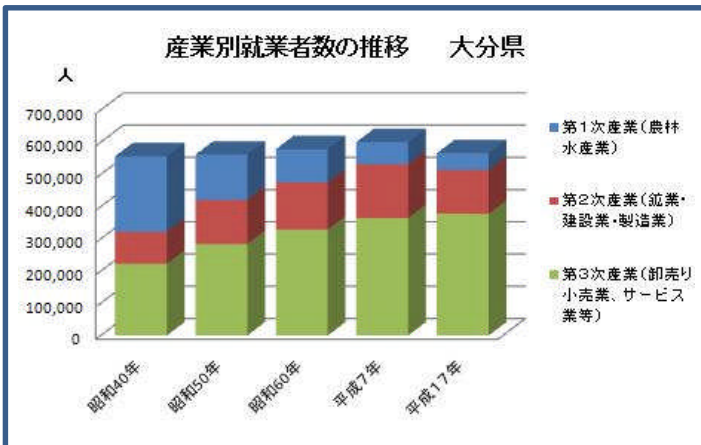
次は高齢者世帯に注目してみよう。



高齢化が進んでくると当然高齢者世帯は増えるよね。



高齢者だけの世帯が20年の間に3万世帯余りから9万に、3倍にもなっているよ。次は産業の変化を見てもらおう。



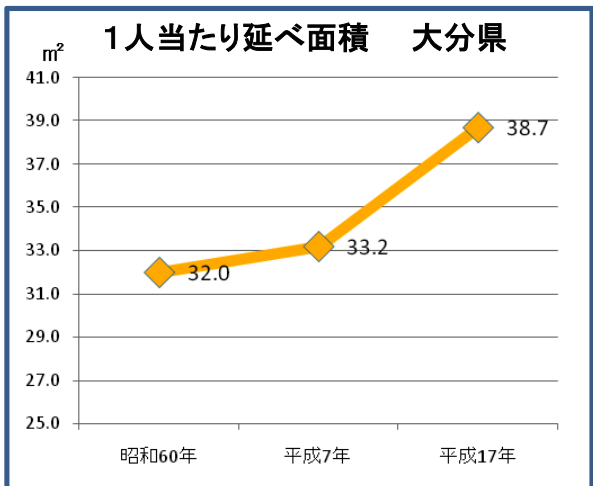
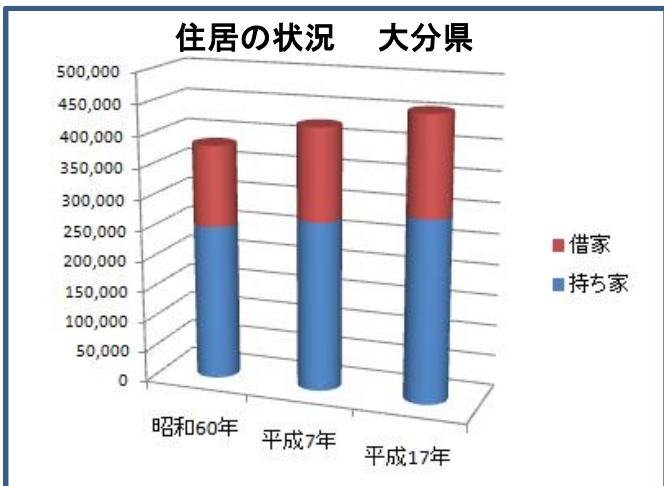
第3次産業で働く人がどんどん増えてきたね。国勢調査っていろんなことが分かるんだね。



第1次産業で高齢化が進んでいることもわかるよ。国勢調査は情報量が豊富なんだ。



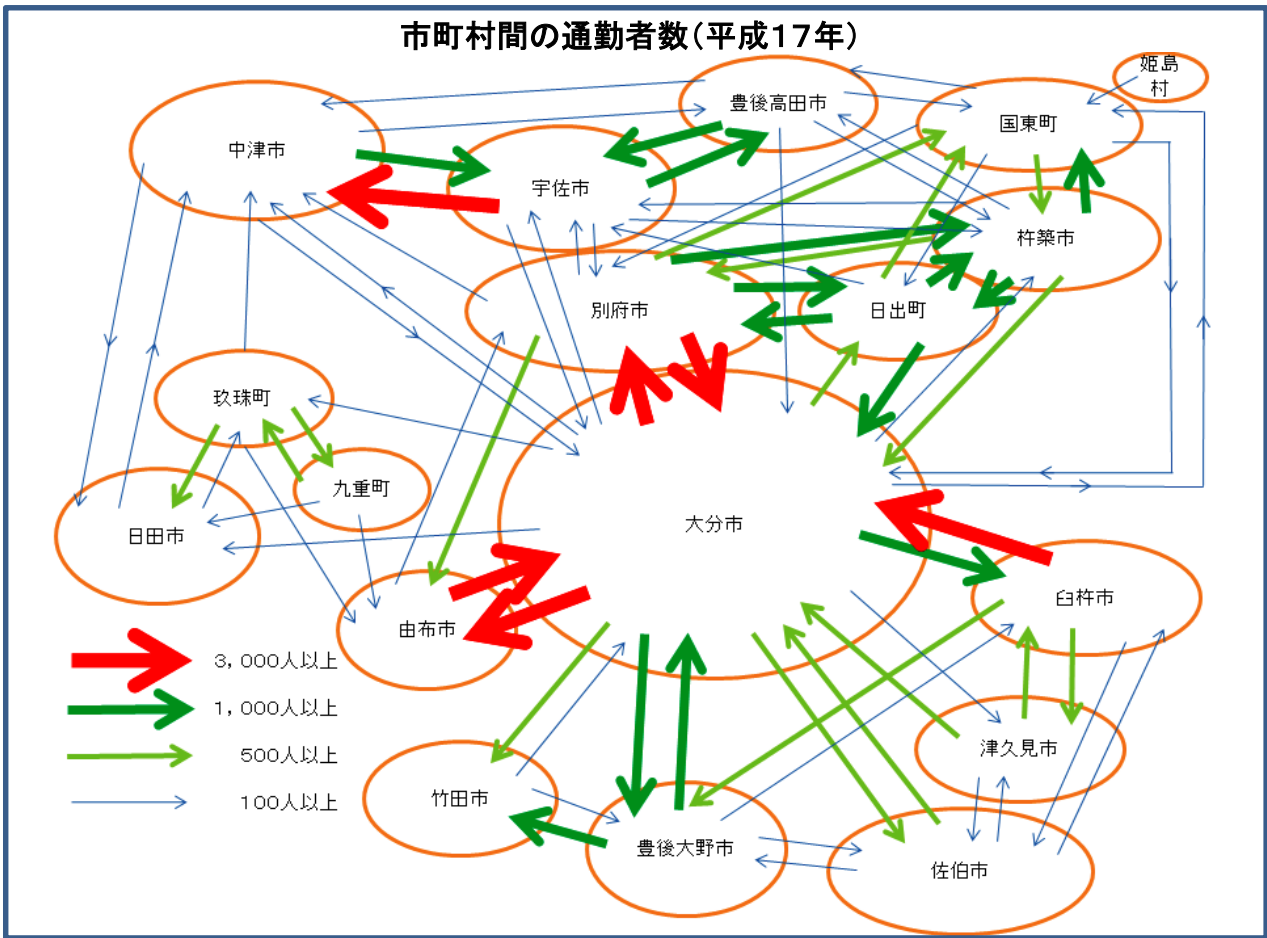
住宅や通勤についても調べているよ!



持ち家に住む人も増えているけれど、借家はまだ増え方が大きいね。



それでも全体を平均した一人当たり延べ面積は広がってきたよ。最後に通勤の様子だ。



国勢調査でこんなことまでわかるの！



一人ひとりの就業場所を集計すると通勤状況がわかるんだ。この図から市町村の相互依存関係のようなものもうかがえるね！
国勢調査ならではのね。

**国勢調査ってすごいね。世の中の実態や課題が浮かび上がってくるわけだ。
まさに「国の勢い」調査なんだ。**



それだけに、県民のみなさんのご協力や、特に調査員になってくださる方の役割が重要なんだ。
どんな集計をしても、元の調査票が正確でなければ正しい姿が描けないからね。



みなさん、国勢調査をよろしく！

